

# editor.0

世に出でし文人指にあまるさへ誇ることなし酒よりほかに 中川昭「百代」より



友愛の人と呼ばれ、  
眼差しの人と呼ばれ、  
作家の魂のアンカーと呼ばれ、  
最後の無頼派と呼ばれた**編集者**

河出書房新社の元文藝編集長 長田洋一（おさだ よういち）  
1979年から2002年までの長田洋一の出版史と  
2003年から現在まで。

長田洋一の本に係る活動を伝えながら、一貫して貫抜かれた  
長田洋一の「本」を愛した姿を追ったドキュメンタリー。

監督 川口ひろ子

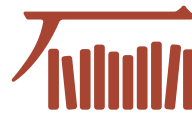
制作 信州の老編集者「本の寺子屋と係る」制作委員会

ナレーション 高瀬がぶん・熊井貴子

音楽 吉本直紀

出演 長田洋一・福島泰樹・正津勉・佐藤直子・高橋博・

山口泉・窪島誠一郎・上條史生・中野友美



石巻まちの本棚

ISHINOMAKI BOOKSHELF

同時開催 トークイベント

## 第22回 いしのまき本の教室 「編集者のしごと」

ドキュメンタリー映画「editor.0」を通じて本に係わる仕事、本を愛する活動を知る。

2024年7月28日(日) 14:00-16:00 (開場:13:30)

場所：シアターキネマティカ（宮城県石巻市中央一丁目3-12） 参加費：1,000円

主催：石巻まちの本棚、ISHINOMAKI2.0

定員：30名

### 第1部 上映会

ドキュメンタリー映画  
「editor.0」 上映

### 第2部 トークイベント

ゲスト 川口ひろ子 監督  
聞き手 勝邦義  
(石巻まちの本棚マネージャー)



私が出逢った表現者

長田洋一



### 長田洋一

1944年、大邱(てぐ)に生まれる。  
 1945年、母と引揚げ船で松江港入港直前に撃沈。  
 同年8月に敗戦。父親が台湾から帰国し、  
 復職に伴って家族は転勤により、国内を転々とする。  
 虚弱であったため、本に親しんだ。1960年安保に16歳。  
 国会前のデモには長田と同様に多くの高校生も参加していた。  
 17歳、長い入院生活の後、結核性腎臓病のため右腎臓摘出。

早稲田闘争の大学生時代に、色川大吉と出逢う。文学から民俗学、歴史学、文化人類学へと  
 視野が広がり、大学時代から始まる長い放浪生活を送る。長田はかねてから誘われていた河  
 出書房新社に、文芸誌「文藝」担当者として入社する、34歳だった。  
 長田は、戦後生まれの新しい書き手たちを育て、戦中、戦後派の書き手を励まし続けた。  
 2002年、体力の限界に達し退社。安曇野へ居を移し、治療生活が始まる。2012年、塩尻市立  
 図書館で「本の寺子屋」始まる。人工透析の生活に入ってから、17年がたっている。  
 中上健次と立松和平、辻井喬も、松下竜一も他界している。

### 川口ひろ子監督コメント

長田洋一は俵万智「サラダ記念日」、中上健次「千年の愉楽」、立松和平「遠雷」を世に送り出す一方、文芸誌「文藝」編集者としては、当時考えられないジャンルを超えてノンフィクションを  
 大切にしました。松下竜一の仕事を助け、「松本竜一 その仕事」全30巻等を生み出します。また優れた作品が管理費節約のため断裁されていくのを悼み、多くの個人著作集を作ります。  
 当時見えていた読者が見えなくなり始めた出版界は、大きく指針を経済に切り替えます。その中での長田洋一は経済と使命との狭間に戦い続けました。  
 幼少期の結核が元で17歳で片方の腎臓摘出した長田は、度重なる病により2002年退社。東京と安曇野を行き来しての治療生活に区切りをつけて、安曇野に居を移します。長野の  
 出版社の仕事に係る傍ら、「長田ゼミ」「哲学カフェ」を開催します。塩尻市立図書館創設の目玉企画「本の寺子屋」をプロデュース。中央から地方へ文化と出版の架け橋を作りながら、  
 地方から発信することを次の視野に持つこととなります。  
 長田は1944年生まれ、現在79歳。この映画は、ひとつの出版史としてみることもできます。同時代を生きた人には共感する部分が多いかもしれません。また、地方と中央を考えること  
 の手がかりになるかもしれません。経済と心の豊かさの均衡が激しく問われている今、長田の姿が細やかな灯となってくれることを願っています。

## 作家ととことん付き合う トークイベント 編集者のしごとを知る いしのまき本の教室 「編集者のしごと」

数々の作家を世に送り出した河出書房新社の元文芸編集長 長田洋一。退任後は長野県塩尻市図書館の「本の寺子屋」企画に携わっている。  
 長田洋一の人生を追ったドキュメンタリー映画「editor.O」を本邦初上映。その後本作の川口ひろ子監督とトークイベントを実施します。

**ゲスト**

**川口ひろ子/映画「editor.O」監督**  
 1951年生まれ。宮城県出身 30代で販売促進会社(株)ブックパワーに参加し、10年で退社自主講座横浜文学学校参加。芥川賞受賞作家宮原昭夫の出版プロデュースをおこなう。出版と現代アートのジャンルに係る。ヨコハマアパートメント、藤棚アパートメント経営。販売促進会社勤務中に知り合った河出書房新社元編集者長田洋一のドキュメンタリー映画を初監督、プロデュース。

**お申し込み**

QRコードを読み込み、申込フォームに以下の情報をご記入ください。

- ①お名前
- ②人数
- ③連絡先(電話・メールアドレス)

